京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲編輯欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬ノ太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西署西小門通（電話六六三）京城新報社

東京電報

▲陛下の御軫念

今回の大水害には聖上陛下深く御軫念遊ばされ御側近く侍從を召具して時々御下問あらせられ尚は災害の報告等は隨時奏上せよとの優渥なる御下問に侍從一同恐懼して審かに奏聞したりと（同上）

▲東京漸次減水

利根川權現堂の堤防欠潰し一時東京全市危険の狀態に陥りしも十四日朝より稍々減水し始め最早此れ以上の慘害を見る事なかるべく一良の愁眉を開けり尚警視廳軍隊の外三百の水兵横須賀海兵團より操出し救護に努め居れり

▲淺草下谷の慘狀

龜井戸附近にては天神川堤防欠潰して附近部落救護を求むる叫び聲に滿され淺草方面にては水勢益々加はり花屋敷の象獅子など水を恐れて咆哮する聲物凄く觀音堂上は避難者を以て滿され欄干にお類を干せる等あり其の狀憐れなり夜に入りては一体增水甚しく本願寺は遂に濁流の襲ふ處となり下谷區も又々一面の水となり避難民は六千五百に達す

▲東京市中の暗黑

東京瓦斯會社及び東京電燈共に浸水して送電するを得ず市の大部分は暗黑となれり又市の交通機關たる市街鐵道も山の手線一体の外は運轉杜絶となれり尚は退水後と雖も諸所軌道に欠陷を生せしが全部開通を見るは一週日を要すべしと（同上）

▲宮城縣の慘狀

宮城縣岩沼町岩沼堤防欠潰の爲め浸水家屋七千餘戸床上五尺の浸水となり又た志田荒尾川欠潰の爲め全町浸水胸に達す又た品井沼湖欠潰し黑川、宮城、志田三郡及び其附近は濁流に包まる

▲千葉縣の慘狀

利根江戸兩川の堤防欠潰三十箇所に達し被害田畑一万町歩浸水家屋六千餘成田佐倉の兩地は海と變じ印幡郡市川村は殆んど全滅の姿となれり（同上）

▲埼玉縣の水害

綾瀬の鐵橋墜落し救護船顛覆多數の溺死者を生じ忍地方にては病院一棟患者を收容したる儘押流されたり（同上）

雜報

柞蠶と東拓社（新義州の蹶起運動）

韓國に於ける產業發展上柞蠶事業の如きは最も有望なるものの一にして新義州の有志藤原大久保加藤三氏の如きは夙に之れに着目せる熱心なる經營者なるが嚮に宇佐川東拓總裁及嶺秘書役等の同地出張に際し新義州官民相謀り歡迎會を開ける時右三氏は柞蠶事業に關し同席に於て總裁と會談する處あり總裁も亦親しく其意見を聽取し大に贊同の意を表して爾來嶺氏をして再三再四之れが調査を命じ愈々有望と認めたる末鈴木囑托をして屢々出張商議せしめ事業上必要なる資金の貸出補助金下附等交渉纏るに至りしかば三氏は之れを新義州に於ける公共事業として着々其步を進め既に第一回の試育に好成績を得たるを以て今や第二回秋蠶放養に着手せんとし頃日藤原加藤の兩氏出京し更に東拓に謀る處ありたるが意外にも林營業主任は兩氏に對し斯くの如き內約あるは曾て余の關知せざる處縱し嶺秘書役の如き如何に內諾せしとて之は單に個人的內約に過ぎず公然東拓の承認せる處に非ざるべし且つ東拓の定款に斯かる明文なき以上柞蠶事業に補助を與ふることは斷じて不可能なりと拒絕したるより兩氏は苟も東拓殊に宇佐川總裁自から來義の際大に奬勵し殊に嶺秘書役をして數回の調査報告を爲さしめ補助の內諾を與へたるさへあるに第二回着手期に迫れる今日如斯不當の言を爲すは不都合なりとして大に論議する處ありしも遂に要領を得ずして一先づ歸義し亞で大久保氏の再上京さへなりしも前同樣要領を得ずして數日前歸義したるが三氏及び斯業に關係せるものは勿論其他の有志も亦大に東拓總裁等の言を憤慨し總裁に對つて更に交渉を開始して其の責任を問はんとの事となるが聞くが如くんば今回の事は最初嶺氏が其の營業部長たる林氏に毫も計る處なくして自ら總裁を促せる結果事茲に至りしより林氏の感情を害し爲めに斯くの如き始末に立到りしものなるべきかと尤も新義州に於ける產業家は東拓の諾否如何に拘はらず將來大に斯業の發展を期すべく目下苦心計畫中なりと云ふが兎も角斯かる區々たる感情の衝突より前途有望なる事業の發展に障碍を與ふるは眞に遺憾のことと云ふべきなり（新義州通信）

韓國の拓殖事業（內田拓殖局部長談）

韓國の拓殖事業は東洋拓殖會社主として之に當り居りて本局に於ては未だ何等調查する處あらず世間には嚮きに各府縣より觀察として派遣せしめたる者の報告は概して悲觀に傾き居れりと說くものあれども右は予等の關知せざる所と相違あり而かも該事業は家族的の小規模なるものありては好果ありしも大規模のものに於ては失敗の跡あるが此場合に於て家族的即ち小規模の移住民を獎勵するか將た亦規模の開發を主とすべきかに就き予一個人としての意見を述ぶれば韓國は半開地に屬するが故に隣國の西比亞に於ける歐洲人の濠洲に於けるが如き未開地開發の方法たる大農主義を應用するは蓋し得策には非ざるべし左れどろは既に開墾せられたるものに限れるものにして彼の荒蕪地開拓の巨大の資金を要するものに在ては小規模の計畫の能ふ處に非ざるべきを以て獨逸の南米移民方法に倣ひ東拓會社に於て先づ水利等の工事を行ひ荒蕪地開發の基礎を定めたる上之れを分割して家族的移住民に貸付若くは賣下の方法を採るを以て最も得策なりと信ずるも北海道の夫の如く徒らに廣大なる土地の貸下或は拂下を爲しつゝ空しく之を放任し置くが如きは斷じて之を拒斥せざるべからず而して同國農作者にして米、綿花次に有望なるは砂糖の原料たる甜菜なるも既に製糖業は帝國領土の一部たる臺灣に於て盛に行はれ之を競爭せしむるの不可なるのみならず臺灣製糖とは競爭し得ずと認めらるれば旁々充分なる調查講究を要す可し

本年度製鹽の不成績

本年度に於ける七月迄の製鹽成績は六月より七月に掛けて降雨の打續きたる爲め非常の不成績を呈するに至れり昨年度の天候は六月中九日間百粍と七月中十四日間百二十二粍の降雨なりしが本年は六月中十三日間百六十九粍七月中二十二日間二百四十七粍の雨量なりしを以て昨年完成したる鹽田一町步の收量九萬三千一百五十二斤なりしと本年は同一個所にて六萬二千七十斤の收量ありたる狀況にして其割合より云へば昨年と比較し三分二の收穫ありしのみなり尤も今後の天候にして順調ならば或は恢復し得られざるにもあらず然れども之れを全收穫よりすれば昨年は鹽田の完成せしもの少かりしを以て合計十三萬六千七百三斤なりしが本年は三十二町步にして五十萬三千二百六十斤を得たりと次に廣梁灣に於ては目下鹽田の工事中なるが完成したる區域より七月迄に十万斤を得たる由にて工事の人夫支那人千名、韓人五六千名、日本人八百名あり官舍の建築も目下着々進行中なれば日本人大工職人等の込み居る者五六百人あり廣梁灣警察署亦今般新設せられたるより頗る繁盛を極めつゝあり特設電話の如き既に二十二名の加入者あり同地方面は景氣良好なりと云ふ因に記す朱安鹽田は從來三十二町步の處新たに六十餘町步の工事も既に開始し居れりと

●木浦馬山線問題

馬山商業會議所にては此の程臨時總會を開き先づ馬山百年の大計畫として木浦馬山間の鐵道敷設問題を提出し種々協議を凝らせしが異日具体的成案を立て官民有志一般とも審議商量して木浦方面にも移檄して着實の態度を以て其筋に向ひ大々的運動を開始する由なりと因に同鐵道の敷設は木浦にても數年以前よりの宿題にして木浦會議所に於ては既に種々の調査をも遂げあり只だ時機の熟するを待ち居りしを以て馬山會議所の提案を待つ迄も無く互に協同して其の速成運動に着手すべしと

講談

大岡政談 越後傳吉

旭堂南陵講

第四十九回

此方は多勢でボカ〳〵と毆つて居りましたが、頭を計つて新田の虎ン平が 虎「ソーラ構はねへから出掛けろ、若い者頭といふ顏で號令係りになり、サッと下知をしたものだから堪りません、一同ワーワッと、鯨波の聲を揚げてドン〳〵ドン〳〵と乘込んで來ましたのが庄左衞門の家、餘り突然の騷ぎでもつて下女下男が呆氣に取られて居る中にワア〳〵と、大洪水が堤を切つて漲れ張る勢ひも啻くやと乘込んで來る、眞先驅けて奧の室へ飛込んだ虎ン平が第一番に證據を取上げなきやアならぬといふ考へで奧の室に庄藏が平生から御用先へ持出して參りまする御用行李といふものがある、それへ眼を着けてパッと御用行李を轉倒返すと天命でございますか、中からズル〳〵と出ましたのが紺縮緬に三の字の染拔になつて居りまする、三浦屋四郎左衞門から貰ひました胴巻の中に入つた百兩の金子縞の財布はお仙が前掛にして居ります布の餘つたのでしてある、それが一緒にゴロ〳〵と轉り出した 虎「ツーラ在たぞ、この金子に違へねへだ、在た〳〵」お家騷動の寶物でも取上げたやうに虎ン平が目よりも高く差上げた 一同「打ッ壞せや、泥棒野郎の家だ、打ッ壞せ……何しろ一同氣が立つて居るところへ憎まれて居るから堪りません、見て居る中に戶障子唐紙の嫌もなく、バリ〳〵メリ〳〵と打破りました、虎ン平は益々聲を張上げて 虎「サア〳〵天井の板は構はねへから下から突上げろ、簞笥は叩き壞してしまへ、衣服つナニ構はねへ、衣服なんぞは油雜利を持つて來てドン〳〵油を流して置け、床の間の軸物なんぞは踏破つてしまへ何だ燒物の布袋さんの置物がある、爾なものは構はねへから小便桶へオッ放り込め、布袋さんこそ飛んだ災難でございます 甲「疊などはペリ〳〵と逆目にやぶつてしまへ、何をしてるだ汝ア…… 乙「乃公はこの釜の底を拔いてやるべいとたもつて釜の中に這入つたが拔けねへ 甲「この野郎、中へ這入つて拔けるもんか外から打ん毆れやい…… 同「この築山を崩して、泉水を埋めてしまふ積りだ 甲「この間拔奴が、そんな事をして居たら三日も費るわい 一同「ヤイ〳〵多勢築山で何をしてるんだ… サア〳〵打ッ壞せ〳〵ッ、イヤハヤその混雜云はん方はない、見て居る間に庄左衞門の家は蜂の巢の籠のやうにしてしまひ、モウ之で充分だと思つたか一同「ソレ引取れッ「ワアワアッ」と鯨波の聲を揚げて傳吉の家へ引取つて參りました 虎「ヤア小旦那、お前樣の百兩の金子の這入つた胴卷は此品でございませうのうこの財布の中にてりやア二百兩這入つてますが、中村屋與兵衞にお仙傳吉の三名顏と顏とを見合つて傳藏の野郎ハア間違ひのねへ泥棒だせ、「ヤア〳〵それだ〳〵 虎「庄左衞門に庄藏、お梅、お早の四人は散々打たれやあがつた、この時にはモウ庄左衞門この通り小旦那の金を三百兩盜つて居た後でグル〳〵卷にふん縛られてしまふた、中村屋與兵衞が 與「サア〳〵皆さん、騷がないで置いて下さい、これだけの品物を當人に見せまして調べなきやア不可ませんから 虎「然うでがすぞ、何不可ませんから白狀をさせなければうでがせうな、調べるのなら乃公に調べさせて貰ひたいものでがす 與「おやあれ前さん調べて下さい新田の兄哥虎ン平が調べるといふので四人を庭へ列べさせた、多勢の百姓が皆四邊を取卷いて居る新田の虎ン平は逍れ代官郡奉行といふ面貌をしまして 虎「これ庄左衞門に庄藏や、面ア擡げろよ、二人は所々傷だらけになつて居る 虎「汝等アハア二人太へ野郎だ、小旦那居る中からお梅と庄藏と密通いたに違へねへだらう、庄左衞門どれ早婆と密通いたに違へねへだらう、何うだい 庄「ナカ〳〵爾ういふ事は私は知らね 虎「何吐しやあがるだ、知るも知らねへもあるか汝ア云なきやア、仕樣がねへぞ、このハアお奉行樣はなエラー酷いお奉行樣でな、拷問をお掛けなさるぞ、ヤア構はねへから、拷問を掛けてやるべい 甲「拷問ちうたら何するんだ 虎「構ふ事はねへから火箸を赤うして呉れ 甲「ヨシ來た 虎「燒けたらその火箸を口の中へ突込むんだ、庄左衞門に庄藏驚いた

外人の視たる半島（十）

KOREAN PENINSULA AS VIEWED BY A FOREIGNER

一外人記述

▲前に於て述べた如く余の見るところを以てすれば半島の經營は日韓人の共同作業によつて出來るものだ、[illegible]到底望み得られぬ事になるのである。

▲日本帝國政府は遠に**遠大**の考を有し、半島を保護國とした當初よりして一千五百萬韓人の幸福利益の增進が帝國の幸福利益の增進たることを信じて半島の經營を爲しつつある、されば之れ其官吏、其軍隊は過去五ヶ年間に韓人に對し秋毫犯すところなきは勿論の事、常に帝國政府の意を体して韓人の幸福利益の保護增進に勉めつつあるのである。

▲帝國政府特に其代表者たる故プリンス、イトオは統監政治の下に韓人の幸福利益の增進を祈り、苟くも韓人にして**怨聲**を發するものあらば其怨聲の大小を論せず、親しく耳を傾けられたものだ、ソウして常に公平の措置を付けて、怨聲の根を斷れんと期せられたものだ、されば之ろ韓人は半島が保護國となつた始めより今日に到る迄帝國政府が彼等の爲に計るに万事が公平にして且つ人道的なることを良く承知して居るのだ、今故伊藤公が韓人の爲に計りし一二の例を左に掲て見よう。

▲**京釜鐵道用地**は時の韓國政府が京釜鐵道會社に向かつて下附したものだ、下附された用地が鐵道のものとなるのは當然の事だ、而るに其用地に向つて永代使用權を有すると云ふ韓人共が噪ぎ出した、古來朝鮮の國法によると土地は國有であるのだ、人民が之を使用して居るのは一の條件附だ、條件とはイツ何時でも政府が其土地を必要とするときにはソレを取上げ得ると云ふのだ、京釜鐵道の用地も上記國法の定むるところに因つて政府が人民より取上げて京釜鐵道へ下附されたものだ。

▲右に關して前にも云つた通り永代使用權を有すると云ふ韓人共が譯判らずに噪ぎ出した、而して本來ならばコンナ噪ぎは官憲が取上るには及ばぬ事[illegible]た、彼は古來よりの國[illegible]地を失つた韓人等をば[illegible]た、因つて時の財政顧[illegible]國庫からして取上げ[illegible]**下附金**を爲しめた[illegible]本の軍隊は西韓特に平[illegible]用の爲に若干の土地を[illegible]右軍用地中に自分等の[illegible]り讓り受けた、戰役が[illegible]居ることを申出した。[illegible]韓國政府より日本軍隊[illegible]のだ、故に該土地に關[illegible]題が起ろうとも理屈か[illegible]軍隊には素より沒交渉[illegible]韓人と韓國政府との交涉な譯だ、而るに故伊藤公は韓人の申出しに耳を傾けられた、ソウして右申出に係る土地を**軍用地**より割いて**韓人へ還附**せしめられた。

▲以上は單に故伊藤公が韓人の爲めに特に計らはれた一二の例に過ぎぬ、而して外にも此例と同様な事が幾つあるか知れない。嗚呼公平にして親切なるは韓人に對する帝國政府と其代表者との措置だ、韓外人は爲に**讃歎**の辭を發した。

▲帝國政府と其代表者とは爐大の考を以て韓人に對して斯く公平で且つ親切であるのだ、而るに帝國の臣民たる移住日本人諸君は如何、**親の心子知らず**とは、實に諸君中一部の輩のことだ、身は先進國民でありながら韓人の模範たることを期せず、反へつて國家を笠に着て韓人を虐待する、思はざるの甚しきものと云ふべきではないか、某外人宣教師曾て余に告げて曰く統監政治の妨害を爲すものは**自尊心**に乏しく常に機會だにあらば韓人を虐待ぜんとする移住日本人也と、嗚呼日本人諸君、諸君は此非難に對して何か辨解の辭を有せらるるか

▲彼のハルベルトやベッセルや絶わず排日主義を鼓吹して日本ゝ半島政策に妨害を與へんと試みたものだ、而して彼等が使用した排日材料を見るに統監政治の缺點に關することは少なくして寧ろ移住日本人が韓人を虐待するの實例なるものが多かつたのだ。

▲今や半島には新教宣教數台せて五百餘の外人宣教師が居る、此宣教師輩常に曰く日本の官憲、日本の軍隊一點非難すべきところなしだ、併し移住日本人の韓人に對するやり口は**言語同斷**の沙汰だと、アー此言語同斷、何[illegible]日本人諸君の考ふべき[illegible]の爲に諸君の三考を要求する。

▲半島の統治機關、夫れがドウなるかなどは余の知るところに非ず、余が第三者の外人として望むところは韓人をして日本の半島政治に**悅服**せしむることだ、而して悅服の事實を實現せしむる爲にはまづ第一に日本人諸君が**對韓人心得**を換へねばならぬ、換言すれば之迄ヤツタ樣な韓人虐待を廢さねばならぬ。

▲敬愛なる諸君諸君、余は餘りに長く同一問題に就いて書いた、さらば次號より筆を他の事に移さう。

●夏期講習會の終了

例年夏期休暇中を利用して各地普通學校職員の講習會は三週間の豫定を以て京城に開催し來りしが本年は地理上其他の關係より水原に於て開會する事となり學部より交涉して勸業模範場を教場とし同場の技師其他講師を囑託して教育科及び農業科に就て講述したり講習生は韓人教師五十三名の應募申込者の中五名は都合によりて缺會し得ず一名は父死亡の爲め中途欠席したるの外は四十七名一人の欠席なく終始熱心に午前は學理に就き午後は實地の研究等夫々勉勵し十五日終了したるより學部よりは淨書記及參列して終了證書授與式を擧行し一場の訓示を與へたるが其成績は從來稀なる良好なりし

●衛生幻燈講話開催

愛國婦人會韓國本部の韓人衛生幻燈講話會は十五日午後八時鍾路皇城基督教青年會に於て開催韓人會員淑明女學校生徒助産婦養成所生徒一般韓人有志一千餘名出席大槻主幹開會の辭を述べたる後山縣囑託は玄楯氏の通譯に依りて夏季衛生談を佐々木醫學士は李重氏の通譯にて幻燈說明を爲し終つて數種の活寫動畫を觀覽せしめ十一時頃散會したるが當夜は[illegible]より出張注意し一同少しも喧擾せず靜肅したり因に當日青年會にては此の擧を賛し會場の貸附等便宜を與へたり

東京電報

▲桂首相の水難

輕井澤に避暑中なる桂首相は近年未曾有の水害に遭遇し中央政府重要の事務すら觀る能はざるより倉々長野に直航し鹽尻、松本に至り中央西線は工事中なるを以て腕車を驅りて迂廻し名古屋に入り東海道線連絡船若くは陸路を經て歸京する事に決定したり（十五日）

▲夏蠶の損害高

農商務省當局者曰く東京府下を初め群馬、栃木、埼玉、千葉、神奈川、山梨及静岡の各縣下に於ける夏蠶は何れも全滅せりと斷定するの外なく而して其の損害高は合計三万四千四百石此の價格百萬圓以上に達すべし（同上）

▲洪水漸く減退

市內の洪水は稍々減退せり陸海軍の排水防水其他の大活動は着々効を奏して災害の幾分を輕減せしめたり又三井三菱其他富豪有志の罹災民救護に從事する者漸く多く罹災民少しく靜肅せり（同上）

▲羅災民の減少

出水は漸次減退し今尚ほ床上迄浸水し居れるは深川の木場鶴前町附近本所の向島附近淺草千束町附近外數箇所にして其他は概ね床際迄減退せるより諸學校淺草觀音堂國技館等に避難せる者漸く歸宅する者多きも尚各所に避難救護を受つゝある者五千餘人あり

▲二瀛船の難破

十三日午後郵便物を滿載して名古屋港を出帆したる第十七觀音丸は暴風の爲め紀州鳥羽沖にて難破せるもの如し又た神宮丸は十二日午後二時橫濱出帆臺灣に向ひたるも途中暴風に遇ひ之れを避けんとして桑名港に入らんとし木曾川の出先に坐礁し沈沒に瀕せり（同上）

▲梅ケ香丸の避難

鐵道院にて計畫せる連絡船會下山丸第一回の航路は去る十三日熱田より旅客三百十三名を載せ淸水港に向ひたるが航行の途中暴風雨に遭遇し熱田を去る六十哩の地點に於て遭難前途危險なるを以て昨日午前熱田に引返し又青森を出帆淸水港に航行中の梅ケ香丸は十二日午後三時淸水港入港の豫定なりしが之れ又途中暴風雨に逢ひ一時避難の餘儀なきに至り豫定の如く入港し能はざりしを以て行衛不明となりしにあらずやと憂慮し居たるに十四日夜無事入港したり（同上）

▲近藤廉平氏不幸

群馬縣碓氷郡坂本町の近藤廉平氏別邸山崩れの爲め破壞し氏の令息謹一（二十）慶應義塾大學部學生吉田三郎（二十）同鈴木溫（二十三）米田俊民（二十）四氏行衛不明となれり多分壓死したるものならん（同上）

地方電報

▲元山港の水害

三四日來暴風の爲め海河膨漲居留地浸水家屋數百軒未だ止まず損害多し（十五日）

雜報

農事視察團來韓

東洋拓殖會社に於て韓國農事視察の爲め日本各地より農事關係者を招來し實地視察を爲さしむる趣旨を以て豫に農商務大臣及內務大臣に對し之が人選方を申したる所兩省に於ては三府十七縣より各一人の視察員を推薦し來り九月下旬若くは十月上旬に來韓する由今其地方別及氏名を掲記すれば左の如し

●東京府々會議員相澤喜兵工▲京都府郡會議長村上國吉▲大阪府會議員富岡治郎▲神奈川縣代議士廟井準造▲兵庫縣代議士大西善太郎▲長崎縣篤農家松瀬重任▲新潟縣農銀監査役吉川庄藏▲埼玉縣銀行頭取發智庄平▲千葉縣副會長平野仙太郎▲茨城縣同須田幹三▲栃木縣縣農副會長田村律之助▲奈良縣果樹園主喜多長左衞門▲三重縣辻喜代藏▲愛知縣銀行重役黑田淳二▲靜岡縣製糸家石井研二▲山梨縣篤農家生駒龜太郎▲滋賀縣々參事會員津田喜右衞門▲岐阜縣安藤登▲福島縣會社重役田倉孝雄▲岩手縣郡農會長國分謙吉▲秋田縣資家產明石文治▲福井縣篤農家野村勘左衞門▲石川縣代議士駒田小次郎▲富山縣前代議士金山從策▲鳥取縣篤農家谷口龍三▲島根縣々會議員野田秀次▲岡山縣銀行頭取農福泰造▲廣島縣篤農家岩崎猛二▲山口縣地主荒瀬長重▲和歌山縣篤農家恩地信吉▲德島縣農業技師鈴木敏夫▲香川縣小田伊三郎▲愛媛縣技師岡田溫▲高知縣技師正岡遇造▲福岡縣大森武雄▲大分縣地主城洗▲佐賀縣銀行重役浦郷孫市▲熊本縣會社重役三津家傳之▲宮崎縣々會議員田尻藤四郎▲鹿兒島縣々農會副會長池田正義（以上）

偖は旅行日程は左の如し

▲第一日午前釜山着諸事打合▲二日瀛車瀛船釜山發進水、昌原、馬山▲三日瀛船馬山發木浦▲四日瀛船木浦發榮山浦▲五日榮山浦滯在▲六日陸路榮山浦發羅州、光州（七里）▲七日同光州發潭陽（五里）▲八日同潭陽發井邑（七里）▲九日井邑發金堤（七里）▲十日金堤發全州（六里）▲十一日全州發大場村、白馬寧（六里）▲十二日大場村發群山（七里）▲十三日瀛船群山發江景▲十四日陸路江景發公州、鳥致院（六里）▲十六日瀛車鳥致院發京城▲十七日京城滯在▲十八日京城發沙里院▲十九日沙里院滯在▲二十日汽車沙里院發平壤▲二十一日平壤より水原▲二十二日水原滯在▲二十三汽車水原發釜山▲二十四日汽船釜山發下の關着

東海道線の開通

水害の爲め數日間連絡杜絕せし東海道線は大船、藤澤間約五丁の徒步連絡を要する外全部開通せる旨昨十六日韓國鐵道管理局へ通報ありたりと

●農商工部の移轉期

農商工部は豫て特許局陳列場橫手に新築中なる洋館廳舍落成したるを以て來る二十一日の日曜日をトし移轉すべしと而して移轉すべき局課は大臣官房及び農務局商工局にして他の水產局、鑛務局山林局は依然從來の廳舍に置く筈

●參與官會議の例會

十六日午前十時より參與官會議を開き統監、副統監を始め有吉總務長官、小宮、池田、宇佐美、明石、石塚、倉富の各參與官、土屋大佐、佐々木書記官等列席したり

●山縣副統監の巡視

山縣副統監は十五日午後三時半憲兵隊司令部及警務總監部に到り各室を巡視し執務の狀況を見約一時間を經て退廳

●李首相の水害見舞

日本に於ける水害は東京を始めとして東北東海の各地頗る大なるを聞き首相李完用氏は韓國政府を代表して十六日午前統監邸を訪問し見舞を述べたり

●各大臣追悼會參列

十五日內閣會議散會後各大臣は午後二時半頃より南大門通り漢城府民會に於て施行せられたる鄭秉夏外二名の追悼會に參列したり

●一進會記念會遠慮

明十八日は一進會創立六週年の記念日に相當するを以て例年なれば日韓官民多數を招請して盛んに祝賀會を催ふすべきの處本年は遠慮する事に決せりと

●統監夫人令孃陪食

十六日午前十一時統監夫人同令孃及兒玉秘書官夫人は德壽宮に於て嚴妃の御陪食に列したり

●消防水量栓檢査

警務總監部は不時の用意に遺憾なからしむる爲め市內消防水量栓檢査を施行し既に全部完了

●梅博士腸窒扶斯

數日前大韓醫院に入院したる梅法學博士は遂に腸窒扶斯となりたる由にて目下療養中なりと

●加藤中尉の歸任

鐵嶺丸遭難の實況視察を兼ね全羅南北道及忠淸南道地方の實地を踏査して十五日夜歸任せり

韓銀營業景況（上）

去る十五日市原韓銀總裁が東京商業會議所に開催せる同行株主總會に於て演說したる要領左の如し

本期金融の概況及本銀行業務の大要を陳述すれば初期には韓國の主要產物たる米穀が昨秋日韓兩國に於て豐穰なりし結果價格が依然として安値を保ち地方農民の購買力は振起するを得ず加ふるに交通の不便なる地方は運搬を妨げられ陰曆正月に當りても商況が大概不況にして唯北韓地方に大豆、牛皮、生牛の輸出か好況を呈したるのみ三、四月解氷の時に際しては米價騰貴したるを以て雜穀類と共に各地に買出が漸々增加し特に滿洲大豆の歐洲輸出か盛況を呈し隨ふて韓國大豆の需用が大に喚起し又安奉鐵道の改修と平南鐵道及國道の開設等の諸工事は所用物資の供給を要したるに因りて市場に活氣を與へ又五月に入りては旱天打續き移秧の困難に依りて多少人心を消沈せしめたれども幸ひに天候回復して農繁期に入りたるを以て一般經濟界又閑散となり唯滿州地方に在る採金が多量に上り近來採掘に着手したる黑鉛は英獨兩國に對し漸次輸出を開始し一方には夏物買入資金の需用ありて何分か金融の繁忙を見たるのみ期末に及びて外國輸入貿易の狀況を察するに米國は日本內地の米價低落したるにより其輸出は豫想に達せず又歐洲、滿洲、浦鹽等に向ける輸出は增加して昨年同期の輸出額と相當したり大豆は前述の事情により牛皮は日本內地の市價騰貴したるを以て共に其輸出額を增加し生牛も亦日本と浦鹽方面の需要に應じ多額の輸出ありて本期の輸出總額は昨年の輸出額に比して稍多きに至れり春來經濟界の沈衰は一般購買力を減退したるを以て綿糸、金巾、麻布、石油等は多少其輸入額を增加したれども石炭、淸酒、砂糖其他一般輸入物は前年に比して著しき增額を見ず隨て本季の輸入超過額は昨年上半季に比して二百餘万圓を減退したり是故に本季は日本內地の經濟界不振によりて韓國企業の發展の機運に向ふ能はず大体に於て金融を緊縮する事情に乏しく中頃に於て多少金融の繁忙を告げたるも一般緩漫の中に經過したり本銀行は此時に際して市場の大勢に鑑み金利を引上げ各種金融機關に對する關係を參酌し伸長に業務の經營に努力せり

▲降雨と韓民の迷信▼

近來北韓地方は降雨頻りにして農作の前途頗る憂ふべきものあり之が爲めに同地方の人民は例の迷信を唱ね出し漸く降雨數十日に亙り農作物の被害ある時は潛かに死屍を埋葬せるものありて神仙の怒に觸れたる爲めなりとて郡衙に迫り其埋葬者も物色せられん事を哀訴しつゝありと

韓海の漁業概況

韓國沿海に於ける本年の漁業概況を聞くに群山方面のグチ巨濟島方面のサバ蔚山方面のサワラは稀有の好漁にして鯛の漁獲は群山方面より蔚山に掛けて先づ相當の成績を示めし江原道沿海は鰯の漁獲最も盛んを極めたり北韓方面は一般に不漁なりしが之を概括すれば土地〱に依りて多少の豐凶ありしと雖も先づ普通の程度なりと云ふ

●韓銀貨幣發行週報（自八月七日至八月十三日）

銀行券總發行平均高	一三、六五一、四二九、〇〇〇
內 正貨準備發行平均高	五、六〇五、〇七二、〇〇〇
保證準備發行平均高	八、〇四六、三五七、〇〇〇
銀行券平均手許有高	七三九、三七五、〇〇〇
銀行券平均市場流通高	一二、九一二、〇五四、〇〇〇
硬貨發行高（八月十三日現在）	
內	六五三、一三六、二〇〇
金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇、〇〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九二六、〇〇〇、〇〇〇
同二十錢	一、五五三、〇〇〇、〇〇〇
同十錢	一、一三八、三三一、二〇〇
白銅貨五錢	六〇五、〇〇〇、〇〇〇
靑銅貨一錢	二八〇、〇二五、〇〇〇
同五厘	七九、〇二〇、〇〇〇

●間島地方本年農況

間島地方に於ける本年の農況は概して豐作なるも地方に依りては蟲害を被りたる所ありて粟は多少の被害あり畑は昨年に比し一割餘水田は二割の增收あるべし畑作の步合は麥[illegible]粟大豆增收

●園藝品々評會開催

農商工部は現在廳舍移轉後其跡を利用して園藝品品評會を催ふすべく目下準備中なり開期は倘未定なるが多分九月下旬なるべしと

●佛國軍艦仁川拔錨

佛國巡洋艦アルゼー號は昨十六日仁川拔錨上海に向つて出帆したり

公人私人

▲佐々木保之（財務事務官）十五日出發
▲山田常藏（憲兵中尉）十五日仁川行
▲有馬輔秀（憲兵中尉）十五日釜山行

▲龍山雜信▼

▲矢野久三郎（鎭南浦稅關長）十五日鎭南浦より入京浦尾旅館に投宿せり

▲尾關東平（陸軍主計）十五日入京す

▲龍山元町通は世に聞ねたる惡道路なるが漢城府にては昨十六日より其修繕に取懸れり居留民の喜び譬へん方無し但しイヽ加減にホジクり散して名ばかりの修繕ならざらんことを祈り居り

▲今回龍山の警察は龍山停車場より京城に通ずる電車路を界として南方の街區は龍山憲兵分隊に於て北方は龍山警察署に於て分轄することゝなり昨十六日分隊長荒木憲兵大尉は民團出張所に登永主任を訪ひ事務上の打合を爲したりと隨て自今取締營業に關する諸願屆等も前記の所轄別に依りて夫々提出さるべきものなりと

▲今回仁川協同組店主立石幹氏等は石油發動機船を以て仁川を中心として麻浦、龍山、金浦、汶山及臨津江等の各地に航路を開始し荷客の取扱を爲す由なるが既に一二回の試驗を爲せしに成績良好なりといふ

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
十六日	七三、〇〇五、九九	四五〇

▲治外法權▼

韓大臣共が密議を凝らして居るとか、耶蘇韓人共が喧いて居るとか、韓政黨者流がモガイて居るとか、韓政界動搖の兆ありとか、種々の風說が內地新聞に掲載してあるが京城實際の狀態は至極靜謐なものだ思ふに此靜謐な狀態は統監政治開始以來未曾有の事で、タガが緊つた効能は爭はれぬものだ

▲風說と云へば過日京城日報が掲載した多數の外人京城に入込み、各ホテル滿員、外人中には二三の新聞記者もありとの跡方もなき風說記事が內地の諸新聞紙に載つて居る、半官紙虛を吠へて萬犬實を傳ふ抔は中々に振つて居る

▲早稻田の野球選手が布哇へ挑戰に出掛けて名譽の零敗を遂げた、併し此の名譽の零敗は同選手をして奮起せしめ、ヤガテ名譽の勝利者たるを得せしむる原因となるのだ、井蛙大海を知らず、自家の無學無智を悟らずして獨り自ら偉なりとし、日々退步して行く舊式の人々には早稻田野球選手の眞似は迚も出來まい

▲東洋捕鯨會社が韓海捕鯨業の獨占を企てゝ居るソウだ、獨占はナンでも惡いが特に有利なる捕鯨業に於て而りだ、農商工部はマサカ許しはせまい

▲中井道書記官の報告によると咸鏡北道の人民は作物不出來の爲に遠からず饑餓に瀕するならんと、饑餓も大袈裟だが當局も何かフンベツを付けたがヨイ

▲此頃同業者中に自由廢業が流行する、之も時代進運の兆か。

●夏期講習會の終了

例年夏期休暇中を利用して各地普通學校教職員の講習會は三週間の豫定を以て京城に開催し來りしが本年は地理上其他の關係より水原に於て開會する事となし學部より交渉して同地園藝模範場を教場とし同場の技師其他講師を囑托して教育科及び農業科に付て講述したり講習生は韓人敎師五十三名の豫定申込者の中五名は都合によりて參會し得ず一名は父死亡の爲め中途欠席したるの外は四十七名一人の欠席なく終始熱心に午前は學理に就き午後は實地の研究等夫々勉勵し十五日終了したるより學部よりは濱書記及參列して終了證書授與式を舉行し一場の訓示を與へたるが其の成績は從來稀なる良好なりし

●衛生幻燈講話開催

愛國婦人會韓國本部の韓人衛生幻燈講話會は十五日午後八時より鐘路皇城基督敎青年會に於て開催韓人會員淑明女學校生徒產婆養成所生徒一般韓人有志一千餘名出席大橋主幹開會の辭を述べたる後山根囑托は安藤氏の通譯に依りて夏季衛生談を佐々木醫學士は李雲氏の通譯にて幻燈說明を爲し終って數種の活寫動畫を觀覽せしめ十一時頃散會したるが當夜は中部署より警部出張注意し一同少しも喧擾せず靜肅したり因に當日青年會にては此の事を贊し會場の貸附等便宜を與へたり

没常識の日本人

▽嚴重なる注意を希望す

過日同業日報子は新聞紙の品位なるものを書かれた至極御尤も以て我等座右の銘となすに足る、其所で一つと負けん氣の蹴變からでなく我輩は我同胞諸君に次の如き事に注意を拂って頂きたいと思ふ、夫れは他の事でもない清國人を捉へてチャンコロと云ひ露國人の事をロスケと云ふ事を止めたいと云ふことだ、ロスケと云ふことは格別輕侮の意味を含ませては居ないと云はれるかも知れないが事實はナカ〜然う取れぬ「君は偉いよ」と云ふのは多くの場合眞實偉いよと贊嘆した事に取れないぢやないかロスケに至っては少くも六分通り侮蔑すべき意味を含んで居る况んやチャンコロに至っては沙汰の限りである、政府が協約や條約に依て何程兩國の交誼を敦ふしようと試みても國民が斯う云ふ不謹慎な言語を弄して居る間は到底圓滿なる兩國民の融和は望まれないのである而して此れは單に下層民のみが口にするのみかと云ふに左樣でない堂々たる新聞紙上に斯る不謹慎の語を列ねる所謂學者があるのは慨嘆に堪ねぬ次第である、若し一日本人が此の語を以て一清國人を侮辱せんか他清人から見れば共に凌辱を受けたものと感ずるのは自然だ夫れも理由があって此の罵聲を浴びるものならば殘念ながらも我慢するだらうが故なくチャンコロなぞと罵り倒すのは大なる心得違ひだ、と斗ではないチャンコロとは清國人全体を侮辱する語であるから一度日本人の口からチャンコロなる語が洩れるが最後今迄傍観の位置にあった同國人は擧て攻撃的態度を執って個人の爭に參加する、馬鹿とか間抜けとか泥捧とか云ふのとは全然違って居るのだもの一日人が一清人に豚尾漢と怒鳴れば百の在清日人は直ちに面白からぬ壓迫を受ける百の日人が百の清人に之れを繰返せば一協約は到底空文に終る結果となるのだ而して斯う云ふことは我輩が云ふ迄もなく知らざる可らざる清國安東縣邊で發行せらるゝ新聞紙が平氣で書いて居る不謹慎とよりは寧ろ常識が無いのには泣き度なる霞ヶ關の無能や統監府の外交手腕を疑ふの徒は先づ自ら省みたが可からう余は統監府令を以て韓國に於ては此の語の使用を嚴禁せられたいと思ふ(むの字)

吉野の泣き倒し

▽財務署主事の仰天

鼠小僧は泥棒で御座る取られる奴は間抜で御座ると既に判然相場の決定つた今日なれば彼の一名を狐と呼ばはるゝ女郎に誑されて金を捲き上げられたる者ありとすれば此れも又確かに間抜の一人と云はるゝも申し譯あるべからず何んとなれば彼は抜きとして新町遊廓第一樓支店に名斗り立派な吉野と呼ぶは生れは神奈川縣足柄下町土肥村字門川にて淺次郎の長女にて本名は長島てい(二二)となん申し侍るが昨年四月例の通り親の爲めとあって三箇年前借金四百五十圓にて抱へられたる者なるが容親も先づは足柄種としては猿放れのして居る所へ持って來て少々は其の手練とか手管とか云ふ頗る物騒なもの〻心得もあるより三月に一度は乾度れ職を張ると云ふ貫れ方湯河原で捨てられた人とは思へざることそ不思議なりける次第なりけり然ればこそ吉野女郎も大に安心して京城の男子與し易しと樂天の腹鼓を打って居る鼻尖へ打つ衝つたのが財務署主事の崔奎錫(二八)なる高襟男去月八日の夜初めて登樓したるに吉野君の一視同仁に歡心を仕つて繁々登樓する如くになりし或夜の事吉野君目には唾の涙を潜ね出來る丈け悄々とした面をして崔君の膝に凭れ溜息を七つ八つ連發して扨申す樣は貴郎と深い交情になってからと云ふもの何う云ふものか此樣勤めをして居るのが熱々厭になりました身儘氣儘になりますなら假令貴郎の妻にはなれずとも下女にでも使って頂くのだけど……と拙い手管と古い文句を列べたり日本ではモウ此樣甘いのに乘る奴はないのだが未だ全く開けない韓國には此れが立派に通用すると見へ斯くと聞いた崔君恰も水飴を塗り箸に突っ掛けた如留め度もなくデレリとなり「貴女の心私能く判りますれ金何程ある貴女私所來ることも出來る」と來たので吉野君は〆たと此の頃少々胃が惡いと見へ少し白い紅い舌を嬉し紛れにペロリと出したがハッと思ひ附いて其奴を鼻の穴へ入れて一クルク〜と回して元の口へ仕舞つた上「アノー三百五十圓なのですの」とあるに乘氣の崔君ウンと呑み込み「心配する不可ない金直きに持って來る」とて立歸つたが吉野の了見では何に自分の身に引き較べ三百五十圓なんて大金が出來るものかと高を括つて居たことなれば何を云つたか忘れて終つてる去月二十日崔君意氣揚々と登樓し三百五十圓大廣間の眞只中へ拋り出し樓主を召べ吉野は俺れが宿の妻只今から伴れて歸るぞとあるに吉野の驚き一方ならず今更「實は」とも云ひ難ね樓主と談合の上芽出度く〜にかこ付けて多額の金を費消はせたる上何んとか程よく詐して其日は歸したるも崔君の熱心は一方ならず毎日登樓しては何うだ〜の催促に樓內集つて思案の末が國元の親が承諾しませんので妾しや口惜しう御座んすワと泣き倒れて見を附けたとは然りとは餘りに罪が深い

老婆の自殺未遂

▽病苦を氣にして

一昨十五日午後十一時二十分頃南大門驛構內にて轢死を遂げんと爲したる老女ありたり此の老女は廣島縣人當時青坡町青坡酒主人有地福太郎母すま(七〇)にして同構內轉轍手詰所の傍に來り何事もなすなく其の附近の線路內を彷徨ひつゝあるを右詰所にありし鈴木轉轍手之を發見し直ちに南大門驛派出所巡査に急報せしより警官直ちに現場に出張し取調しに老女ますは三十日以前より眼症及子宮病に侵され病苦甚だしく種々なる方法を以て治療を盡せども快方に向ふ模樣なきを苦にし鐵道自殺を謀りたる次第なる旨自白せしに付南部署に同行し實子有地福太郎を召喚し不注意を說諭し身柄を引渡したりと

哀れなる失戀の果

▽見捨てた男を取り殺す

高槻市生れ松本タネ(三十)は當地いろは樓とかにて酌婦稼業を爲し朝に韓客を送り夕べに清人を迎へつゝありしが二世を契りし男に見捨てられて以來鬱々として樂まず劇しくヒステリーの結果遂に精神に異狀を來し哀れ全くの狂女となり勤めどころか一人では置かれぬ事となり親元に伴れ歸るべく小川龜太郎なるもの附添ひ十四日の急行にて釜山へ向け出發したるが汽車の中にて洋燈を破壞する等の亂暴を爲したるも釜山停車場淺利巡查保護を加へて漸々乘船せしめたる由なるが未だ花の盛りの身の男々しき黑髮をしどろもなく亂し顏色蒼白眼物凄く堅く口を結びて時折附添人を指さし此の人嫌ひ〜と叫び垢まみれの浴衣の袖無きを着し洗足のまゝで飛び廻る態氣の毒にも亦哀れなりし國元の兩親がこの變り果てたる愛女の姿を見なば如何ばかりか歎き悲しき事ならんか

書記官長と妾と盜難

▽情夫は度支部の主事殿

日本婦人が韓人兩班の妾になり居るは敢て珍らしき事にもあらざるが茲に或る韓大官の妾が情夫と共謀して其財產の幾部を掠り取つたとか取らんとかしつゝある莫連女ありとか其の大官とは內閣書記官長韓昌洙氏の事にして資產も相當に有し二十歲前後の日本婦人三四人を電話掛り客の應接掛りの名目にて雇入れ其の實は妾を兼帶せしめ居れる內に一際目立つた澁皮の剝けたる相澤たけ(二三)にして此の女は北米倉町料理屋榮月亭女將の妹にして一時酌婦も爲せし者の由なるが或る人の周旋に因り本年一月中旬より前記韓氏の妾に住込みし以來は頗る御氣に入り何事もたけでなければ夜は明けぬと云ふ調子で寵愛一方ならざりしとか然るに相澤たけには切っても切れぬ深き情夫こそあり开は度支部主事とかの關某(三八)にして某が新町遊廓の遊興費等も全部たけの許より送り來りたけは韓氏の氣に入り居るを幸ひに何に付け彼に付け捌り取り全部情夫の許に送り居れる內重大なる問題こそ起れりそは過日同邸に千五百圓の盜難ありたるが其嫌疑者の何人なるかは兎に角として如何なる都合か韓氏は之れを一切秘密に附し居れり

●ニユージーランド保險株式會社代理店

▽永樂町の藤原商店

本社を英領ニユージーランド、オークランド市に置き資本金一千五百万圓にて其の拂込株金三百萬圓と準備金及び再保險額四百四十五萬圓とを有するニユージーランド保險株式會社は其の創立は實に我が安政五年の初めにして世界に於て最も古き歷史と最も大なる信用とを有する保險會社の一に數へらるゝものなるが先頃來本邦は東京橫濱其他重なる都市に支店代理店を置き居たるが最近に至り當地永樂町藤原商店を代理店として一般營業を開始したり

●土方金筋の處刑

去る四月十二日の紙上に金筋の大檢舉と題し表面請負業者の如く裝ひ其の實所謂金筋と稱して他人の請負事業に關し談合金を取り美衣美食して其の日を送り居たる福岡縣生れ士族當時京城蓬萊町八番戶の一土方職森本事片山仙太郎(三五)長崎縣生れ當時仁川松坂町二丁目四番戶川尻役太郎(三五)埼玉縣生れ當時龍山櫻町百十八番戶中田定雄(三九)廣島縣生れ當時京城若草町一丁目八十九番戶多澤敬正(三四)大分縣生れ當時京城大和町一丁目矢野德太郎等が共謀して內部土木局の工事入札其他陸軍經理部の工事入札等に際し眞正なる工事請負者を脅喝して金員を騙取し非行を逞したる事南部署に檢舉せられ檢事局に送られし事は旣報の通りなるが爾來京城地方裁判所に於て審理中の所昨十六日片山仙太郎懲役三年川尻役太郎中田定雄は各懲役二年六箇月矢野德太郎は懲役六箇月多澤敬正は懲役一箇年に處せらる

●赤痢病漸く猖獗の兆か

若草町二丁目百十五番戶末永はつ(五〇)青坡病院助手大日方昌治(二九)は何れも赤痢病に罹り其の筋より夫々消毒を施したりと注意せらるべし

●觀音講と其緣日

花園町曹洞宗日韓禪寺にては十七日午後一時より例月の觀音講說敎詠歌等あり午後八時より新西國三十三所觀世音の緣日法會を施行すと

●掏摸檢事局送り

數日前本紙上に詳報したる京阪地方より入込みし掏摸は警務總監部の大活動により既に十數名其筋に逮捕せられたるが中にも巨頭と目さるゝ宮崎縣宮崎町龍山本町三十二大工村上剛事山本友太郎(三四)は去月末日京龍電車內にて龍山親町古屋清成の懷中より二百三十圓六十錢入りの紙入を竊取したるが本月四日其筋の手に捉へられし際現金百五圓を剩し引續き警務總監部にて取調中のところ逐一罪狀自白の結果昨日身柄は檢事局送り

今日の運勢

八月十七日舊七月十二日 七赤口 甲寅破 △一白●常事は可新事及旅行見合せの事●讀書委托請願に忌む△二黑●誘獎提言に忌む△三碧●賣買貸借取引間違あり不動產の事に忌む新事見合注意すべし其他吉△四綠●盜害橫領避くべし商諸事謹慎の事△五黃●貸借及金品授受紛紜起り易し其他平靜△六白●家庭內の煩累と取引上の見込違あり新事見合せの事△七赤●と不利の日賣買取引注意すべし疾病衛生注意新事旅行見合せの事△八白●損害受け易き日なり他は概して靖事△九紫●齟齬多し新事旅行見合せの事爭論及色情の害を戒しむ

●天氣豫報(自十六日午後六時至十七日午後六時)

北東風晴後曇

十五日(華氏) 最高溫度 八一、三 最低溫度 六六、七

目と耳

▲壽座 合同劇十七日の代り番組は新派「新壷坂十一場」喜劇「弓矢八幡三場」

▲浪花館 廣八一座十七日代り番組は御祝儀寶の入船(入登)大功記杉之森の段(廣吉)いざり館別の段(越濱)梅由兵衛聚樂町の段(此重)三勝半七酒屋の段(此千代)朝顏日記宿屋の段(仙春)八じん正濟本城の段(隅照)三十三所壷坂寺の段(越春)忠臣藏七段目(廣八)大切七福神(總掛合)三味線(豐岡仙平)

韓國銀行第一期決算公告

(自隆熙四年一月一日至隆熙四年六月三十日)

貸借對照表

負債

資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
銀行券發行高	一三、二五五、〇〇〇、〇〇〇
內手許有高	六五七、七五三、九〇〇
政府諸預り金	五、六七二、三四八、〇〇七
政府貸下金	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
創立費貸下金	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸預り金	四、九八三、二一四、二八〇
仕拂爲替手形	六三二、八〇一、一九〇
金塊買入資金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
他店ヨリ借	二、三一一、一一二、五〇七
仕拂未濟配當金	八五三、五六〇
當期純益金	二六、二四〇、〇八〇
合計	三八、〇四二、〇四八、七五〇

資產

未拂込資本金	七、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
貨幣整理資金貸越	八、五八五、三五九、九四〇
定期貸	二、〇八〇、七三五、九五〇
當座貸越	三六九、二七六、七四〇
割引手形	一、三一四、二四八、二二〇
荷爲替手形	一二四、四六五、四六〇
別途貸附金	七、九九四、九三七、九八〇
預ケ金	六、〇三九、三七〇
公債及社債	一、八〇二、四五〇、〇〇〇
他店へ貸	一、三五五、四四〇、三八〇
地所建物什器	一、一五六、三二四、三一〇
新築費	六二四、五〇七、一三〇
創立費	三〇、〇〇〇、〇〇〇
地金銀	三一九、四四九、五六〇
金銀有高	六、四〇一、〇一八、七一〇
合計	三八、〇四二、〇四八、七五〇

損益勘定

一金五十九万七千八百六圓九十錢也 當期總益金
一金五十七万一千五百六十六圓八十二錢也 當期總損金
差引
金二萬六千二百四十圓〇八錢也 當期純益金
金三萬一千〇九圓九十二錢也 政府補給金
合計金五万七千三百五十圓也
內
金二千一百圓也 損失補塡準備金
金五百五十圓也 配當平均準備金
金二千一百圓也 役員賞與金及交際費
金五万二千五百圓也 配當金(政府持株三萬株ヲ除キ殘餘ノ七萬株ニ對シ年六分ノ割)

右之通ニ候也

隆熙四年七月

韓國銀行

總裁 市原盛宏
理事 水越理庸
理事 三島太郎
理事 木村雄次
監事 濱口吉右衛門
監事 伊藤長次郎

前記各項ノ調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ認ム